

食事とは、なにか

フランス人の食事

明治大学商学部教授のフロランス メルメ・オガワさん。フランス人の女性です。NHK ラジオ「まいにちフランス語」の講師をされています。「教えて Madame」というコーナーで、フランスの習慣や文化を教えてください。その中で、食事に関する解説がありました。それをご紹介しておきます。

(質問) フランス人はひとりで食事はしないのですか？

食事 un repa ってなんでしょう？ 休息のための、緊張を和らげる時間でしょう。だから、食事にはある程度時間をかけます。少なくとも 45 分、友達や家族と過ごします。日本で、牛丼やラーメンを 10 分で食べに行くのなら誰かと一緒になくてもよいでしょうね。でも私たちからすれば、それは食事 un repa ではありません。

(質問) 高級なフレンチ？ それとも気軽なビストロ？ どちらがお好き？

おいしい食事。それは料理もさることながら (何を食べるかよりも) その食事を共にする相手が大事です。うるさくない、楽しい雰囲気、くつろいだ心地よいムード、興味深い会話やユーモア、そうしたものが、どんな食事であってもご馳走に変えてくれる。そう思いませんか？

マダム、同感です。



YOKOHAMA 霧笛楼のステーキ

「孤独のグルメ」のパターン

毎月レポートを配信しています。その読者からメールをいただきました。「S さん(私のことです)の Gourmet レポートは、『孤独のグルメ』の主人公と似てますね」と書いてありました。『孤独のグルメ』を知らなかったのですが、調べてみると、テレビ東京で深夜に放送しているものでした。

早速、番組を録画し見てみました。俳優の松重豊が主人公を演じていました。毎日営業に出ているビジネスマンが、ランチを何にしようかと迷い、店を決め、料理を味わうというものでした。

なるほど、小生の『ランチ探検』とよく似ています。料理の味わい方も、よく似ています。料理が出てきた瞬間、全体を見渡し、目で味わってから、すぐにパクリというところも似ています。一口食べた後、にっこりするのにも似ているように思います。

店を選び、何を注文するかを迷いながら、周りの状況を観察し、注文を決定し、待つ。そして食べて評価する。これもすてきな食事のひとつの形態だと思います。



大手町「リトル小岩井」のナポリタン

『孤独のグルメ』のパターンを気の合う仲間や家族と一緒にやれば、フランス人の食事スタイルとも合致し、『最高の食事』になりますね。それがいいですね。そうしましょう。

(M.S.)